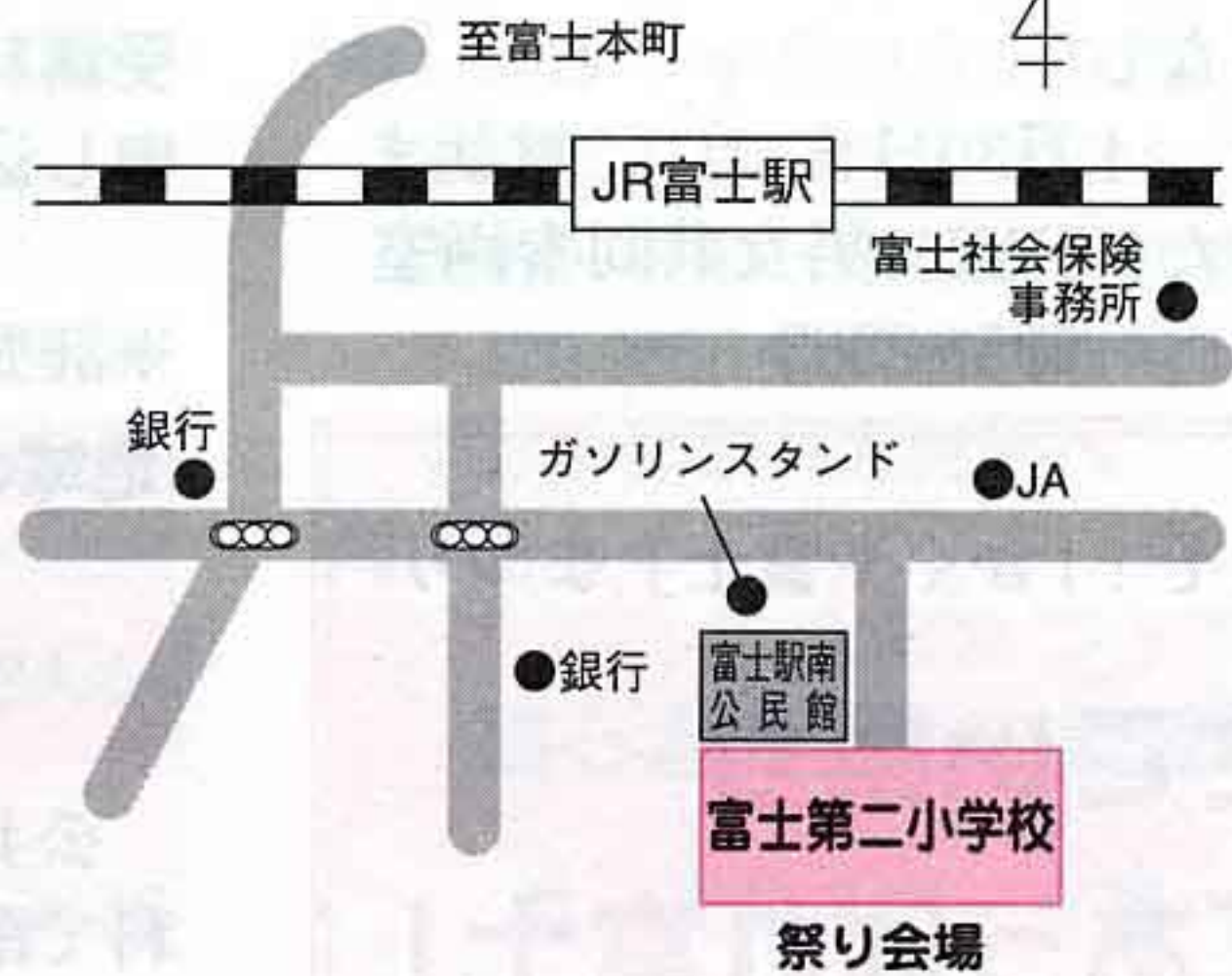


# こぎさとだいこ 小木の里太鼓



第10回

4



小木の里まつり 7月20日(土)

平成二年、富士駅南地区まちづくり推進会議では、地域の活性化や明るい住みよいまちづくりのため、夏祭りを行う事にしました。一一八〇年の富士川の合戦のとき、源頼朝率いる源氏が、富士駅南地区に陣を張ったと言われ、当時この地区一帯が「駿州富士郡下方の庄小木の里」と呼ばれていたことから、祭りの名称を「小木の里まつり」に決めました。

第一回小木の里まつりは、大盛況をおさめました。祭りの華である太鼓演奏は、他地区の団体をお願いしていました。そこで、「太鼓演奏を自分たちの手で」と考え、地元有志が集まり、平成四年に「小木の里太鼓保存会」が結成されました。その後、練習を重ね、現在ではプロに作曲してもらった「GOGO小木」や会員がみずから作曲した「小木の里太鼓」、「小木の里ばやし」などたくさん曲を演奏し、富士駅南地区だけでなく、市内外に和太鼓の魅力を伝えていきます。また、会員数も小・中学生、大人を合わせて五十人ほどになり、祭りを盛り上げる太鼓として、欠かせないものとなっています。

昨年、小木の里太鼓保存会が発足して十周年を迎えました。これも、地区の皆さんの応援や会員の熱意のおかげだと思っています。

毎週木曜日の夜、富士第二小学校の体育館で練習しているのですが、体育館の建てかえ工事の間は練習場所を確保するのに本当に苦労しましたね。太鼓は大きな音がするので、体育館の練習でも太鼓にゴムを張って、近所の皆さんに迷惑をかけないようにしています。その分、本番では思い切り威勢よくたたいていきますけどね。(笑)

この太鼓を通して、小学生から中学生、大人の会員との縦のつながりができ、うれしく思います。これからは子どもたちに引き継がれ、この地区の伝統芸能となってもらいたいですね。



小木の里太鼓保存会  
会長

佐野 三郎さん (水戸島柳)

平成十四年四月五日号

## こちら編集室

編集室の5年間、多くのことを知り、学び、多くの人に出会った。すべてが私のすてきな財産。でも、あれもこれも、もっとやりたかったなあ…。この思いをばねに、新しい仕事も頑張るぞー。(皆さん、またどこかでお会いしましょう！小だぬき)

3月完成の「市政紹介ビデオ」。何と主人公は身長193cmのガーナ人。富士市の魅力が詰まっています。制作者が感動しているビデオですので、ごらんになってください。制作にご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。

人口 242,234人 (前月比+150)  
男 120,522人 (+20)  
女 121,712人 (+130)  
世帯 83,076世帯 (+170) 3月1日現在  
編集・発行 富士市総務部広報広聴課  
〒417-8601 静岡県富士市永田町1-100  
☎51-0123(代) FAX51-1456

